

## 野中共平先生を偲んで

久留米大学医学部内分泌代謝内科の礎を築かれた名誉教授野中共平先生が、本年1月12日にご逝去されました。卒寿を越えておられたとはいえ、突然の訃報に接し残念な気持ちでいっぱいです。

野中先生は愛媛県松山市のご出身で、1958年に大阪大学医学部を卒業され同第二内科に入局。大学院博士課程終了後、米国デトロイト市のサイナイ病院において、グルカゴンの研究に従事されました。帰国後は1型糖尿病発症機序、妊娠糖尿病、インスリンポンプ療法などに研究領域を広げられ、1981年に助教授に昇進されました。私は1980年に野中先生の研究グループに加えていただきましたが、

1985年6月に先生は久留米大学内分泌代謝内科学講座の初代教授として招聘され、私もその2年後に久留米大学に移動することになりました。

野中先生は久留米大学赴任後、教室の立ち上げに精力的に取り組まれ、多数の専門医を育てるとともに、糖尿病、甲状腺、肥満症の各分野で数多くの業績を挙げられました。また、1型糖尿病の子供たちのために筑後・佐賀小児糖尿病サマーキャンプを創設されるなど、社会貢献にも熱心に取り組まれました。多くの学会・研究会を主宰されましたが、特に1996年に福岡市で開催された第39回日本糖尿病学会年次学術集会は、先生の思いのこもったプログラムであり大盛況でした。事務局長を務めた私にとっても、大変勉強になる貴重な経験でした。

野中先生は厳格な研究者、指導者であると同時に、読書家で幅広い見識を持つ教育者であり、人情味あふれるお人柄は患者さんにも医局員にも慕われていました。先生は1999年に久留米大学を定年退職されましたが、先生が種をまかれた久留米大学内分泌代謝内科は、開講40年を経てしっかり根を張った大木に育ち、薫陶を受けて巣立った多くの医師が、それぞれの場所で医療に貢献しています。

野中先生、長い間本当にありがとうございました。先生のご指導ご鞭撻に深く感謝いたしますとともに、ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



野中共平 名誉教授

久留米大学名誉教授  
朝倉医師会病院顧問  
山田研太郎